

HORIKAWA

堀川から「世界」へ

HORIKAWA for the World

渚にて

来島宣礼

みぎわでは

雲が影を描き

風と波が光を揺らし

流れる砂が指先をなでる

とりどりのバケツが

海をすくいひっくり返す

近づき遠のき

たわむれる声

ポセイドンのスプーンで

世界中の海をかき回して

もう一度すくってみたら

もとの水はどれだけ入ってる？

宇宙の孤独を歌い

くしゃみをした詩人は

無限の空間と極限の繊細の絶対値が同じだから

海がまぶしく手をかざす

太陽は南中し

水平線は横たわり

輝きの中で

地球の子どもたちがかけまわる

すべては君の
「知りたい」から
はじまる

2027



京都市立

堀川高等学校

KYOTO MUNICIPAL
HORIKAWA HIGH SCHOOL

第 I 章

すべては君の「知りたい」からはじまる

La Gaya Scienza

疑問が発見を生み、一つの発見が新たな発見を呼び、それらが集積されて知識となり、知識の体系が知恵に結晶する。ひたむきに繰り返されてきた未知の扉を開こうとする人間の営み。人類は「知る」ことによって生きてきた。

地球に誕生した直立歩行するヒト—火を用い、道具をつくり、言葉を使うことによって、ヒトは今まで生きてきました。

身近な動植物の採取から始まり、狩猟、農耕、気象、天文、芸術、宗教、法律、経済、科学技術……人間を知り、自然を知ることによって築き上げられてきた歴史の延長線上に、現在、わたしたちが立っています。

学ぶことの厳しさを通して得られる喜びは、闇を恐れたヒトが火を得た時にも、収穫に胸ふるえた時にも、思索を言葉に表せた時にも、文字を発明した時にも、蒸気を操ることができた時にも、病気の人の頬に笑顔が回復した時にも、そして宇宙から地球を見た時にも、そこにいた人たちが体中で感じた喜びに通じるものではないでしょうか。

21世紀を目の前にして、人類は様々な課題を抱えています。それらに取り組み乗り越えることが、過去から、そして未来から、わたしたちに与えられた使命です。

すべては君の「知りたい」からはじまります。

(平成11(1999)年4月1日)

「La Gaya Scienza(ラ・ゲヤ・スキエンツァ)」とは、12世紀の吟遊詩人たちが自分たちの詩を創作する技法として名付けたものです。彼らは、草原や森や道ばたで、木々や風や光を知り、そこから何かを発見したり感じたりして歌いました。私たちは、「知ることは楽しい」という意味で、学ぶことを「楽しい知識 La Gaya Scienza」と呼んでいます。

対話を重ね、切磋琢磨し、相互に認め合う

Q.学ぶということは、どのような営みだと考えるか。

この世界を知ること。自分と他者を知ること。知らなかったことを知ること。または「自分は知らない」ということを知ること。知り続けようとする。

Q.堀川高校が生徒に手渡したいもの(つきたい力)は何か。

問いを立てる力。他者から与えられたものではなく、自分で、または仲間や他者とともに立てた問いに、粘り強く立ち向かうことに価値を感じられる構え。

Q.探究学習は生徒(学校)にどのような変化をもたらすと考えるか。

中学校までの自分を大きく超えて、全く新しい境地に突入できる。18歳で自立できる。自分で何かを掴みにいく経験ができる。

Q.堀川高校の生徒にはどのような共通点があるか。

生徒全員がお互いに、それぞれのよさをリスペクトし合っていること。高校3年間で、輝く自分を見つけていけること。優しい。

Q.高校時代とは人生のどんな時間だと思うか。

人生の春。人生100年時代において、最も濃密な時の流れる3年間。

Q.学校とは、どのような場所か。

今まで出逢ったことのないような人・モノ・コトとの、新たな出逢いのある場所。

Q.中学生へのメッセージ

「堀川から世界へ」—新たな自分と出逢える場所、堀川高校でみなさんを待っています。

船越 康平 Funakoshi Kohei

京都市立堀川高等学校 校長

京都市北区出身。大学で東京へ。卒業後は出版社に就職。そこで陸上の実業団をつくり、選手として競技会に出場。その後、途上国支援の一環であるスポーツ指導のためにアフリカへ渡る。現地では陸上競技部の技術指導と陸上競技連盟の運営を行い、世界陸上やその他の国際大会参加へと導く。この体験から教育の大切さを実感し教職をめざす。堀川高校に着任したのは30代前半。担任や陸上部の顧問として本校で過ごした後、京都市立工学院高校の創立に関わり副校長に着任。令和7(2025)年、9年ぶりの古巣堀川高校の校長に着任し、今日に至る。

行きたい旅行先：アフリカ54ヵ国

社会に出て実感する、堀川で学んだチカラ

小器用なだけで受け身の、芯のない15歳の私は「すべては君の『知りたい』からはじまる」の奥深さに気が付かなくて。自分の知りたいとか好きとかよりも、誰かからの「すごいね」のほうに重心があったのでしょ。社会に出た今、実感していますが、良い答えを導くためには、まず良い問いを立てる力が大切です。好奇心を持って何かを探究する経験は、これを培うのに大いに役立ちます。

高校生活を振り返れば、運良く同級生に恵まれ、すごい誰かが、勉強もそれ以外も、知りたい、好き、に夢中。そんな友人たちに影響されて寺町京極、学校帰りに小遣いをやりくりして買う服や聴く音楽、読む本、観る映画、鴨川、祇園祭、近づく夏休みにソワソワしたり。

そして、先生方もおそらく手探りの中、1期生皆でつくり上げた探究の時間。ある日ストンと、言葉の意味が腑に落ちて。

温かく自立を促してくれる校風、私たちの頃よりはるかに洗練された探究活動。外に出れば、家庭や学校の価値観から心を解放してくれる懐の深いまち。堀川なら、想像しなかった18歳の自分に出会えると思います。



廊下にて同級生と(一番右)

松崎 真后 Matsuzaki Shingo

1期生(人間探究科) / 宇治市立榎島中学校出身
大阪市立大学 文学部卒
現在、京阪ホールディングス株式会社勤務

小中高とバスケットボールに打ち込み、大学では写真部でカメラ片手に街を歩く日々を過ごしつつ、アイルランドのRebel Songについて研究しました。趣味は音楽鑑賞、ボクシング観戦、競馬、堤防釣り。取り戻したい習慣は読書、映画鑑賞。妻も探究科1期生です。

好きな本：高橋源一郎『さようなら、ギャングたち』

答えを求めるのではなく つくっていく

高校生活の中で、特に覚えているのは「探究」に関することです。といっても、わたしの場合は「個人で行う探究の時間」そのものではなく、探究基礎委員になり「学習の時間をどう組み立てていくか」を生徒主体で検討し、実際に先生のような立場で授業を運営したり、講師を招いた学習会での司会や質問を投げかけたりした経験が体に沁みこんでいます。これまで「家庭の中の子ども、学校の中での生徒」でしかなかった高校1年生の自分が、先生の立場で考えたり、社会に対して疑問を投げかけ、コミュニケーションをとったりするという、初めての機会だったのだと思います。

千葉県に出向中、県産農林水産物の輸出拡大に向けて、現状調査と有識者会議の立ち上げを行い、千葉県輸出活性化取組方針を策定しましたが、堀川高校で学んだことは、様々な視点で政策を検討し、協議を進め、合意形成を図っていくという行政官の仕事に活きていると感じています。

個人の幸せも、社会が進むべき方向も、「正解」がない時代です。答えを求めるのではなく、答えをつくっていく。その意味を堀川高校で体感できるのではと期待しています。



文化祭後のクラス写真(最前列左から2番目)

松尾 真奈 Matsuo Mana

6期生(人間探究科)／京都市立旭丘中学校出身
京都大学 法学部卒
現在、農林水産省(畜産局牛乳乳製品課)

三姉妹の次女。大学時代の英国留学と京丹後市への農村留学をきっかけに農村・農林水産業に魅せられ、その道へ。千葉県庁への出向を経て、現在は牛乳乳製品の安定供給がミッション。座右の銘は「人は取組を通じて成長する」。小学4年生と年長の男の子の子育て中。

行きたい旅行先：全国の酪農場

挑戦が未来に繋がる

私にとって堀川高校は、挑戦することへの間口が広く、それを温かく応援してくれる場所でした。学業や部活動はもちろん、祇園祭や学校説明会のボランティア、自然科学部のフィールドワークなど、さまざまな活動に主体的に参加し、興味の幅を広げることができました。

さらに、京都大学主催の体験型科学講座ELCASに参加し、海外留学も経験しました。多様な価値観や最先端の学問に触れたことで、物事を多角的に考える姿勢が身についたと感じています。



宿泊研修先でホストファミリーと(中央)

また、高校3年時には医学部をめざす仲間と情報を共有しながら学習に励み、互いに切磋琢磨できたことも大きな財産です。志の高い個性的な仲間との出会いは、今も私の支えとなっています。

自分の生き方を振り返ると、好奇心に導かれて行動し、そこで生まれる出会いとご縁を大切にしながら歩んできたように思います。未知の経験や知識に触れるたびに視野が広がり、出会う人たちから多くの刺激を受けました。

もちろん活動の中では、自分には無理かもしれないと思う場面もありました。それでも迷ったときほど挑戦する方を選び、「まずはやってみる」と決めて行動してきました。その積み重ねが自信と視野の広がりにつながったと感じています。

伊藤 早和子 Ito Sawako

16期生(自然探究科)／京都教育大学附属京都小中学校出身
浜松医科大学 医学部 医学科卒
現在、東京大学整形外科医局に所属(整形外科医)

- 高校時代の部活：山岳部、食物部
- ゼミ：数学ゼミ
- 探究テーマ：「高齢社会において生産年齢人口を確保するためには高齢者は何歳まで働くべきか」
→結果93歳まで働くべきだという無茶苦茶な結論が出ました(笑)
- 大学での部活：ゴルフ部、合気道部、国際交流サークル、アイドル研究会
- 研修病院：NTT東日本関東病院
- 趣味：旅行、ゴルフ、アイドルのライブに行くこと

今一番欲しいもの：手術室用の厚底靴

恩師の言葉を胸に 「誠意」をぶつけ合う

大学に行くつもりもなく何となくで過ごしていた高校1年生。そんな僕にも全力で指導して下さる先生方と関わる中で、進路を切り拓くために選択肢を広げることも重要だと気づき、大学進学を決めることとなりました。情性で生きていた僕に光を与えてくれたのが堀川での先生や友人との出会いだったのです。

僕の数学の恩師の言葉に「誠意と誠意のぶつかり合い」というものがあります。学校行事だって、日々の授業だって、皆に一人一人の人生があり様々な準備や苦労があった上で、成り立っているものです。そんな相手の誠意を受け取った上で自分も全力で授業を受けたり行事に取り組んだりする。それまでは斜に構えていた部分もありましたが、高校生活を経て「誠意と誠意のぶつかり合い」を胸に生きられるようになったのは良かったなと思います。



3年生文化祭でクラスメイト、恩師と(左端)

人に恵まれているのが堀川の魅力だと思います。夢や目標を応援してくれるのはもちろんのこと、現段階で熱中できることが見つからないくても、色んなものに手を出したい人を受け入れてくれる。そんな懐の深い環境にぜひ飛び込んでみてください。

森本 直也 Morimoto Naoya

19期生(自然探究科)／京都市立洛北中学校出身
東京大学 文学部 社会心理学科卒
現在、お笑い芸人

高校3年時に文化委員として活動しました。舞台を作るために朝から晩まで木材を切っていたのはいい思い出です。探究テーマは「松本人志のエピソードトーク比較」。大学では新入生向けのイベント運営に力を注いでいました。趣味は探偵中ですが、人間観察はよくします。

今一番欲しいもの：風邪を引かない体

憧れの堀高で 刺激的な出会い

堀高は中学生の頃の私の憧れでした。パンフレットを見て、まだ合格してもいないのに、自然科学部に入って屋上の望遠鏡で天体観測するぞと勝手に夢を膨らませていました。晴れて入学した高校時代は、探究活動と部活の両方で天文観測に取り組みました。土曜日の模試の後には、友達と錦市場で食べ歩きをしたり、カラオケに行ったりしました。高3の夏休みに毎朝7時に登校して、文化祭の準備に全力を注いだこともいい思い出です。大学受験では第一志望には合格できませんでしたが、あれだけ文化祭に打ち込んだのだからコスパが良かったと担任に言われたことを今でも覚えています。

堀高の同級生や先輩には、様々な興味と好奇心を持った人がいて、とても刺激を受けました。当時からすごい人がいるなと思っていましたが、大人になった今も多様な職種で活躍している人たちがばかりで、話を聞くのがとても楽しいです。高校時代の取組や仲間は、その後の人生にも大きく関わってくると思います。素敵な高校生活を過ごしてください。



文化祭の大道具で作った龍と(右から2番目)

藤井 悠里 Fujii Yuri

5期生(自然探究科)
神戸大学 理学部 物理学科卒
名古屋大学大学院 理学研究科素粒子宇宙物理学専攻
現在、京都大学 人間・環境学研究所 助教

高校時代に考古学者か天文学者で迷い、理系は設備面を含めて自力で学ぶのは難しそうという理由で理学部志望に。物理は苦手科目だったにも関わらず、そんな自分が物理の研究者になれたら誰かの希望になれるかもと夢見ていました。世界を旅する研究者です。

好きな映画：『プラダを着た悪魔』

1年

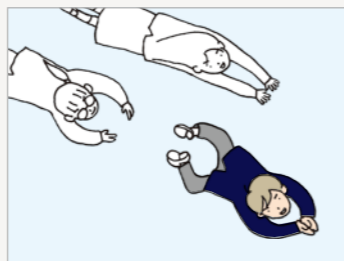
2年

3年

第II章

「知りたい」を携え、 探究にあそぶ 堀川の探究

「探究基礎」は世の中の未だ知られていないことを発見したり、これまでになかったモノを作り出したりするうえで必要な「探究する力」を身につけることを目標とした授業です。



[入学直後]

DIVE

まずは飛び込んでみる!

入学後すぐに行われる、2日間の研修プログラムです。与えられた問いについて、対話を通じてさまざまな観点から考え、課題を発見し、仮説を立てたり、検証方法を考えて実行したりします。最後にはポスター発表を行います。探究に飛び込む気持ちで取り組みます。



[1年通年]

理数探究基礎

必要なスキルを身につける

課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ、表現といった探究を進める上で必要な知識や技能を身につけます。調査結果をどのように整理し、分析するかということは人文・社会科学においても必要な能力です。研究倫理やレポートの書き方についても学習します。



[1年前期]

HOP

何を探究したいのか

自らの「知りたい」に向き合い、興味や関心を広げ、新たな物の見方や考えの深め方を身につけます。また、堀川高校の図書館を探索したり、堀川高校の教員自身の専門分野について話を聞いたりと、「知りたい」がどのように「問い」となり、それに対する考察が論拠をもった主張として表現されるかを学びます。

「探究」は、

自らの「知りたい」に向き合うところから出発する

知っているつもりでも、「なぜ」を突き詰めていくと、分からないことがたくさんあります。他者との対話、学問や社会と自分とのつながりを考えること等を通して、「知りたい」、「やりたい」と思えることを探します。



[1年後期]

STEP

探究を深めるために

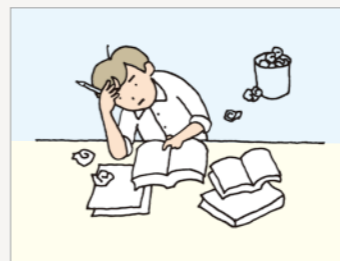
自らの興味関心も考えながら、所属する少人数講座(ゼミ)を選択し、輪読会や実験・実習、文献検索、レポート作成などを通して、学術的な実験・調査の手法や、論理の組み立て方などを学びます。

ゼミについて詳しくは → 08ページ

「探究」は、

一人で出来るものではない

自身の目標を達成するために、社会に貢献するために、自身の探究の意義を他者に理解してもらい、協力を得ることが重要です。そのためには、幅広い正確な知識、信頼される調査手法や結果の分析方法、発表の仕方なども身につける必要があります。



[2年前期]

JUMP

成果を発表する

自らの設定した課題について調査・実験を行います。進捗状況や問題点をゼミのメンバー同士で交流・議論し、考えを深めていきます。論文完成前の「探究基礎研究発表会」には在校生だけでなく、保護者・教育関係者も多数参加し、活発な議論が繰り広げられます。



[2年後期]

Academic Project

学びを活かす

個人での論文作成後、個人で探究を継続する「個人探究」・グループで探究を行う「グループ探究」・下級生のゼミに加わる「ファシリテート探究」という3つの活動からいずれかを選択して取り組みます。自らの「遠い未来」「近い未来」に探究をどう生かすか考え、得意分野を突き詰めます。

「探究」は、

簡単に前に進むものではない

失敗を繰り返し、ふりだしに戻ったような気持ちになることもあります。しかし、そこで止めてはいけません。時には自分が思いもよらなかった方向に道がひらけることもあります。失敗も楽しむ気持ちが大切です。



[3年通年(自由履修)]

Academic Project Advanced

将来につながる探究活動

2年生までの活動をもとに、将来の自分の目標を見据え、更に発展的な探究活動を進める選択科目。外部コンテストへの挑戦を視野に、自身の探究を極限まで高めます。

「探究」は、

終わりが無い

「探究基礎」の授業では、どこまで速く進めたかよりも、どのようにして進んだかを大切にしています。偶然ではなく、意図して新たな道を切り拓く力を身につけることをめざします。成果より過程が大切なのです。



SSH スーパーサイエンスハイスクール

平成11(1999)年に「京都市立高等学校21世紀構想」のパイロット校として、「時代の変化と多様化に対応し、創造性をもって未来を切り拓く生徒を育成する」ことを目標に、人間探究科・自然探究科を開設し、専門科目「探究基礎」を開講しました。特に、文部科学省により平成14(2002)年度に第1期SSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定されてから第4期まで17年間継続して指定されています。令和8(2026)年度は、認定枠・重点枠・認定枠向け加速支援の指定を受けており、長年、生徒の主体性や探究能力を向上するための研究を行っています。

堀川で過ごした「贅沢な時間」

「すべては君の「知りたい」からはじまる」堀川高校にはこのような標語があります。

きっと、知らないことを知るといのは人間の持つ根源的な欲求なのでしょう。私自身も高校生活の中で知りたいことについて幾度となく考えを巡らせ、試行を重ねました。このような経験を3年間の中で何度も繰り返し、能力を培うというのは非常に贅沢なことです。私にはこれらの機会が、単なる教育的体験にとどまらず、幸せな体験そのものであるように感じられました。もし今後の人生でも「知りたいこと」に没頭できるのだとしたら、それは、なんと幸せなことでしょうか。



新井 咲

Arai Saku
25期生(自然探究科)探究基礎委員長
京田辺市立培良中学校出身
東京大学 教養学部 理科一類

好きな四文字熟語：己巳己(いこみぎ)

[探究道場]



平成23(2011)年より中学生向けの探究的なワークショップである「探究道場」を実施しています。

このワークショップで扱う題材の決定や、ワークショップの準備と当日の運営は本校生徒が行っています。中学生に探究の進め方や考え方を伝えるために、本校生徒が探究に関する理解を深めることで、課題発見・解決能力、論理的思考力が身につきます。

過去の取組としては、発電効率の高い水車の製作、強度の高いつり橋の製作、構造を意識した砂防ダム製作など実験をもって数値を取得することができる内容を行っています。

決して簡単ではないものの、高校生がファシリテーターとなれば中学生が十分に挑める内容で、今後は理工学に限らず人文学・社会科学系のテーマも扱い、広い角度での探究に取り組む予定です。



〈 探究道場サミット 〉

令和4(2022)年度からはスーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の一環として、全国各地の高校と連携し、探究型学習の普及にもつとめています。連携校は14校あり、この取組も生徒中心で運営しています。 ※令和8(2026)年4月現在



令和8(2026)年
〈 探究道場スケジュール 〉

第一回 7月4日^④
第二回 11月21日^④

※事前申込については、学校ホームページをご確認ください。

令和7(2025)年度
〈 各種コンテスト受賞歴 〉(一部)

- 「令和7年度第49回全国高等学校総合文化祭(かがわ総文祭2025)自然科学部門」文化庁長官賞(優秀賞)受賞
- 日本青年会議所・国家グループ主催者意識向上委員会主催「第三回全国高校生政策甲子園」決勝大会出場
- 「第15回科学の甲子園全国大会」総合成績10位
- 「全国高校生ビジネスアイデアコンテスト 第12回マイナビキャリア甲子園決勝大会」出場
- 「2025年台北国際青少年科学フォーラム(TIYSF)」参加

〈 ゼミ紹介・個人論文テーマ例 〉

STEPからは興味関心に応じてゼミ(少人数講座)に分かれ、探究の「術」を学びます。ゼミの運営はゼミ長を中心に生徒主体で行われ、担当教員や大学院生のティーチングアシスタントのサポートを受けながら活動を進め、JUMPでの個人探究へとつなげます。

※令和9(2027)年度入学生については、ゼミの種類や枠組みが変わる可能性があります。

言語・文学ゼミ

日本語や日本文学を題材に、ことばの使われ方や表現を分析し、論理的根拠をもとに人間の思考や感情の本質に迫る。

- 坂口安吾の戦い方―戦後の検閲を観点に―
- コナン映画の予告編で使用される表現の特徴―表現技法に着目して―
- ChatGPTの論理の正確性について―文学作品の理解を通して―

人文社会ゼミ

歴史・心理・社会・法などを横断し、人間と社会の課題を多角的に分析する。文献調査と対話・議論を重ね、思考を深める。

- 文法解析で読み解く教科書論説文の特徴
- MBTIの流行と青少年期の心理状態の関係性について―堀高生の自己認識と関連付けて―
- 中世、近世初期ヨーロッパにおける商人、市民の人間観を日記から読解する

国際文化ゼミ

日本と海外の文化や制度を比較し、共通点と相違点から社会の成り立ちを考察する。視野を広げ、当たり前を問い直す。

- トリック・オア・トリートの日本における不伝播
- 日英翻訳においてキャラクター性の反映は可能か
- 国連安保理常任理事国にとっての拒否権とは

スポーツ・生活科学ゼミ

人間生活の諸課題を、スポーツ科学・健康科学・生活科学の視点からとらえて考察する。

- マスク生活での人の嗅覚の変化
- 保育士はどのようにして絵本を選んでいるのか
- 本眠時間とエピソード記憶の定着率の関係について

物理ゼミ

力や熱、光などの物理現象を実験で測定し、結果を数理的に説明する。

- 堀川高校の講堂におけるスピーカーの最適配置
- スマートフォンは液晶面を下にして落ちやすいのか?
- 万有斥力の理論的可能性と現代宇宙論における意義

化学ゼミ

物質の性質や反応を実験によって確かめ、定量的なデータをもとに考察する。

- 香水の持続時間を長くする条件とは
- クロマツの落葉からの天然由来の除草剤の作成
- シクロデキストリン包接を用いたベタベタしない味付け海苔の考案

生物学ゼミ

生物に関する疑問、生命現象の謎を仮説に落とし込み、科学的手法で検証する。

- アリの忌避効果を持つ匂いについて
- 生体影響の少ないシャボン玉液の研究
- 大型鳥類における飛行と潜水の両立のための翼の検討

地学ゼミ

地球や宇宙の現象を対象に、観測・実験データを分析しながら謎に迫る。

- 岩石から粘土の作成は可能か
- アンモナイトの化石の種の特定
- 夕立の発生条件を再現実験から考察する

数学ゼミ

数や論理を用いて現象を抽象化し、背後にある構造を筋道立てて考える。

- n次方程式は最大何重解を持つか
- 負になるようなノルムを定義する
- バレーボールにおけるサーブの初速度とボールの回転数の関係

情報科学ゼミ

身近な現象をモデル化し、プログラミングによるシミュレーションで分析する。

- 四次元図形を可視化する手法
- 農地の貸し手側と借り手側の収入の目安の算出
- 3D五目並べの禁じ手の必要性

探究五箇条

- 1、知らないということを知れ
まずは「自分ではわかっていないことでも、実はよくわかっていないことがある」ことを自覚することが何より大切です。「わかったつもり」は探究の敵です。無知を自覚し、謙虚に学ぼうとする姿勢が探究の前提となります。
- 2、常識を学べ
答えのない問いと向き合うには、世間の一般常識はもちろんのこと、先人たちが明らかにしてきた知恵や理論を学ばなければなりません。探究は人類全体の時を超えた共同作業です。どんな新発見も「教科書」の上に積み上げていくのです。
- 3、常識を疑え
学んだ「常識」を鵜呑みにするのはなく、時には疑ってみることも必要です。探究活動の出発点である「問い」は、「常識」とされてきたものへの疑いや違和感から生まれることも多いのです。
- 4、手と頭を動かせ
探究活動は思考だけでも作業だけでなく、手を動かすことで、考えをめぐらすだけでなく、実際にやってみることで、やみくもに作業を進めるだけでなく、まずは目的を考え計画を立てること、どちらも重要です。
- 5、朋と愉しめ
探究は決して孤独な闘いではなく、仲間が存在が大切です。時には有意義なものとなります。時にはアドバイスを与え合い、時には厳しく批判し合って互いに高みを目指しましょう。そして、探究によって得たものは、皆で分かち合いたいです。

探究での学びが自信となり土台へ

私にとって探究基礎、そして探究基礎委員長としての活動は医師として働く上での盤石な土台になると確信している。学級閉鎖をテーマとした探究を通して身につけた感染症の知識、粘り強さ。委員長として委員会、そして学年全体に働きかけることで得られた主体性やリーダーシップ。堀川高校の活動は研究、臨床どちらにも通ずる力を伸ばしてくれたと思う。志望校選びに迷い、自分の選択に自信を持てなかった中3の私。3年間走り切った今の私なら自信をもって言える。「堀川を選んで良かった」と。



高月悠介

Takatsuki Yusuke

25期生(普通科)

陸上競技部

京都市立中京中学校出身

愛媛大学 医学部 医学科

好きな映画:『ひゃくえむ。』



水野 珀

Mizuno Haku

25期生(自然探究科)剣道部

京都産業大学附属中学校出身

大阪大学 医学部 医学科

好きな本: 中山七里『ヒコクラテスの誓い』

探究に魅了され、探究を愉しみ尽くした3年間

中学生の頃に参加したワークショップ「探究道場」で探究に魅了され、期待に胸を膨らませて入学した堀川高校。探究を愉しみ尽くすべく、私は探究基礎委員会や探究道場に参加し、探究を探究してきました。その中でも特に、「探究道場」の生徒スタッフとして、他のスタッフ(いい意味で探究好きの変人)達と数々の探究系コンテストに参加したことは、今の私を形作る大きな要素になっているのでしょうか。コンテストに向け議論・対話を重ねる内に、探究的なものの見方が次第に洗練されていき、新たな気付きを得る、まさに探究を愉しみ尽くした日々でした。

第三章

自立する18歳を めざして

豊かな学校の構築

堀川高等学校では、校訓「立志・勉勵・自主・友愛」に基づいて「自立する18歳」の育成を図ることを最高目標とし、そのために「豊かな学校」の構築をめざしています。

「豊かな学校」とは、言葉を大切にできる学校、言葉を通い合わせることでできる学校、考えるあたまと感じることを育てる学校、さまざまな経験を重ねることのできる学校を意味します。

豊かな学校は、教職員による指導や支援と、生徒の姿勢や行動によって構築されます。

堀川高等学校は、社会生活を営む上で必要な教養を培う場です。生徒一人ひとりが、社会で他者とのように関わって生きていくのかを自らに問いながら、人文社会、自然科学や芸術に関する教養を身につけるために学んでいます。

健康で安全な生活を営むための基礎体力の維持・向上、主体性・社会性・協調性を備えた自己管理能力の伸長、自他の存在と生命を尊重する人権意識の深化を図り、自己実現をめざします。

そのために、生徒自身に内在する意志と意思、そして能力を引き出す教育を目標としています。

堀川高等学校は、生徒が自らの可能性を見出し高めることのできる多様な機会を提供し、個々の取組をさまざまな角度から支援します。

そのために、専門学科として2つの学科を設置し、各教科・科目及び総合的な探究の時間の充実と生徒の自主活動の活性化を図るとともに、生徒の進路希望の実現に必要な能力開発に関する研究と実践に取り組んでいます。

すべての生徒に、学ぶ厳しさと楽しさを経験してほしいと願っています。

一人ひとりが自立する18歳になるために。

人間探究科 Academic Inquiry on Culture

人文系統の学習を深め、人間の文化や社会・行動などについて探究する能力と態度を養う専門学科です。人文科学・社会科学系(文学・哲学・心理学・教育学・社会学・法学・政治学他)の専門研究につながる学習を進めます。

自然探究科 Academic Inquiry on Science

理数系統の学習を深め、自然の現象や原理・法則などについて探究する能力と態度を養う専門学科です。自然科学系(数学・物理学・化学・生物学・医学・薬学・農学・工学・情報学・環境学他)の専門研究につながる学習を進めます。



植松 莉央

Uematsu Rio

25期生(自然探究科)バドミントン部
長岡京市立長岡中学校出身
大阪大学 工学部 応用自然科学科

今一番欲しいもの：ディズニーの年パス

後輩たちに託す 振り返って思うこと

私は、探究基礎や宿泊研修、文化祭といった堀川らしい活動にはあまり積極的ではなく、各教科の勉強に力を入れていました。それは人一倍努力しなければ周囲に追いつき、追い越すことができないと考え、当時は両立が難しいと感じていたからです。しかし、今振り返ると、もう少し高校生活を楽しんでよかったなと思います。この高校生活で学んだ事は、何事にも目的意識や自分なりの思いをもって取り組むことの大切さです。ただこなすだけでは得られるものは限られてしまいます。何に時間を使うか以上に、どう向き合うかが大切です。この文章を読んでいる皆さんが、どんなことにも自分なりの思いをもって、前向きに取り組んでくれたらうれしいです。



波々伯部 大悠

Hohokabe Taiyu

25期生(人間探究科)吹奏楽部
精華町立精華西中学校出身
京都大学 総合人間学部 総合人間学科

好きな映画：『ショーシャンクの空に』

失敗への不安を挑戦に それが自分の強さに

何かに挑戦するとき、人は成功への期待と失敗への不安を天秤にかけるのだと思います。受験生だった私は、文化祭の監督に挑戦しました。不安の中で、失敗することを嫌う私は、自分にできることすべてに取り組みました。仲間と意見が食い違うその瞬間さえ楽しく、自分たちの納得のいくものを創ることができ、挑戦できたことが幸せだと感じました。堀川高校には挑戦の機会がたくさんあります。「失敗を恐れるな」とよく言われますが、私は失敗への不安を抱えながらも挑戦すると決めたとき、大きく成長できるのだと思います。そして、挑戦を称え、一緒に成功をめざしてくれる仲間の存在が、天秤をさらに成功への期待の方へ傾かせ、皆さんを強くするのだと思います。皆さんの素敵な3年間を願っています。



岩井 優紀

Iwai Yuki

25期生(自然探究科)
京都市立加茂川中学校出身
京都大学 理学部

行きたい旅行先：聖地巡り

通学時間で得た 時間の使い方

僕は学校から離れた場所に住んでおり、通学時間が1時間強と長いのが心配でした。しかし高校生活を振り返ると、この1時間は大切な時間でした。1年生の頃は、新しい生活に期待と不安を抱えながらの1時間。2年生の頃は、部活動のことはばかり考えながら時間割と課題を確認する1時間。3年生の頃は、専ら単語帳との1時間。どの1時間も大切でした。通学時間は家の時間・学校の時間から独立したもので、もちろん通学時間が短いことのメリットはたくさんありますが、長い通学時間も実際は「通学時間」であることはあまりなく、遠距離通学の方もきっと楽しい生活を送れます！

教科の本質を体得し、 学びを自らデザインする

最高水準の学びを実現するためには「教科の本質を体得すること」と「学びを自らデザインする力」が必要である、という考え方にに基づき、教育課程を編成しました。各教科等においては、本質的な理解の核となる中核的な概念を理解し、「見方・考え方」を最大限に働かせるための、工夫に満ちた高度な授業を展開します。

1年次の「学びのアセスメント」で学びのデザインの仕方を学び、3年間自分に合った学び方で主体的に学習を進められるよう、支援します。

1年次は探究学科群として共通カリキュラムで学び、2年次以降に2つの専門学科にわかれます。

教育課程は申請予定のものです。

堀川高校生の1日

08:00 登校
授業は8:30から始まります。早めに来て、授業の予習をしたり友達とおしゃべりしたり。



08:30 午前の授業
進度は早く、難易度は高く、すべては自身の力を伸ばすため。仲間と学びを深めていこう。



12:35 昼休憩
食堂でみんなでワイワイお昼ご飯を食べるのもあり。時にはランチミーティングで時間を有効活用。



13:20 午後の授業
個人端末(BYOD)を活用したり、電子工作や実験など作業をしたり、試行錯誤を繰り返そう。



16:10 終礼



16:20 部活動 / 委員会活動
部活動に行く人、委員会活動をする人、友達と問題の解法を探る人、職員室を尋ねて教員に質問をする人など放課後の過ごし方はさまざま。



18:00 完全下校



1年

自分にあう「学び方」への試行錯誤

「学び方」を学び、よりよい学習者として成長するための「学びのアセスメント」の時間を時間割内に設置しています。学校での学びをより深めるために、生徒が中心となって、言語能力の基礎である英語・国語・数学について、自身の「学び方」を一から見直し、実践につなげます。



探究学科群

国語	現代の国語	2	
	言語文化	2	
数学	数学Ⅰ	3	
	数学A	3	
英語	英語コミュニケーションⅠ	5	
社会	地理総合	2	
	歴史総合	2	
理科	化学基礎	2	
	保健	1	
保体	体育	2	
	芸術	音楽/美術/書道	2
家庭	家庭基礎	2	
情報	情報Ⅰ	2	
探究	理数探究基礎	1	
	探究基礎Ⅰ	2	
	LHR	1	
	学びのアセスメント	1	
		適当りの時間数	35

時間割例

	月	火	水	木	金
1限	数学Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	地理総合	化学基礎	美術
2限	現代の国語	保健	数学A	数学A	美術
3限	体育	言語文化	家庭基礎	言語文化	LHR
4限	体育	歴史総合	家庭基礎	歴史総合	数学A
5限	地理総合	情報Ⅰ	理数探究基礎	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅠ
6限	英語コミュニケーションⅠ	情報Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	探究基礎Ⅰ	現代の国語
7限	学びのアセスメント	数学Ⅰ	数学Ⅰ	探究基礎Ⅰ	化学基礎

2年

自分なりの「学習方略」により 高みをめざす

地歴公民・理科の科目数が増え、学習内容が高度化する一方、過当たりの授業は1年次より1単位時間(後期からは2単位時間)減ります。「学びのアセスメント」で獲得した学習方略を実際の「余白」の時間で活用すること、授業と自学自習のサイクルを高いレベルで回していくことに挑戦します。

〈後期〉 「Academic Project」で 新たな学びの挑戦

2年後期からの総合的な探究の時間「Academic Project」は、より自由で、多様な探究活動を展開します。後期からさらに増える「余白」の時間を活用し、大学やその先にある学びにつながるよう、それぞれが「学び方」を調整します。

人間探究科

国語	文学研究Ⅰ	2	
	古典研究Ⅰ	3	
数学	数学研究Ⅰ	6	
	英語コミュニケーションⅡ	3	
英語	English ExpressionⅠ	2	
	地理研究Ⅰ/日本史研究Ⅰ 世界史研究Ⅰ	3	
社会	地理研究Ⅰ/日本史研究Ⅰ 世界史研究Ⅰ	3	
	公共	2	
理科	生物基礎	2	
	地学基礎	2	
保体	保健	1	
	体育	2	
探究	探究基礎Ⅱ	2	
	LHR	1	
		適当りの時間数	34

自然探究科

国語	文学国語	2	
	古典探究	2	
数学	数学研究α	6	
	英語コミュニケーションⅡ	3	
英語	English ExpressionⅠ	2	
	地理探究/日本史探究	2	
社会	公共	2	
	物理基礎/生物基礎 地学基礎	2	
理科	物理研究Ⅰ 生物研究Ⅰ	4	
	化学研究Ⅰ	3	
保体	保健	1	
	体育	2	
探究	探究基礎Ⅱ	2	
	LHR	1	
		適当りの時間数	34

〔人間探究科〕時間割例

	月	火	水	木	金
1限	日本史研究Ⅰ	生物基礎	数学研究Ⅰ	English ExpressionⅠ	文学研究Ⅰ
2限	数学研究Ⅰ	古典研究Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ	数学研究Ⅰ	公共
3限	英語コミュニケーションⅡ	日本史研究Ⅰ	地理研究Ⅰ	日本史研究Ⅰ	LHR
4限	数学研究Ⅰ	地理研究Ⅰ	公共	地学基礎	数学研究Ⅰ
5限	地理研究Ⅰ	数学研究Ⅰ	保健	古典研究Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ
6限	English ExpressionⅠ	体育	文学研究Ⅰ	探究基礎Ⅱ	地学基礎
7限		体育	生物基礎	探究基礎Ⅱ	古典研究Ⅰ

3年

目標達成に向けた 独自の「学び方」の実践

3年からは授業がさらに少なくなります。自分一人で、あるいは仲間とともに、教員のサポートも受けながら、高みをめざす学習活動を実践します。「いつ」「どこで」「誰と」「何を」「どのように」学ぶかを自ら選択し、計画し、実行に移しながら、「自立する18歳」へと向かいます。



人間探究科

国語	文学研究Ⅱ	2	
	古典研究Ⅱ	3	
数学	国語研究	1	
	数学研究Ⅱ	6	
英語	Advanced English	3	
	English ExpressionⅡ	2	
社会	地理研究Ⅱ/日本史研究Ⅱ 世界史研究Ⅱ 公共・政経演習	4	
	地理研究Ⅱ 日本史研究Ⅱ 世界史研究Ⅱ	4	
理科	生物演習	1	
	地学演習	1	
体育	体育	3	
	LHR	1	
		適当りの時間数	31
探究	探究基礎Ⅲ		

自然探究科

国語	文学国語	2	
	古典探究	2	
数学	数学研究β	7	
	Advanced English	3	
英語	English ExpressionⅡ	2	
	地理探究/日本史探究	2	
理科	物理研究Ⅱ 生物研究Ⅱ	5	
	化学研究Ⅱ	4	
体育	体育	3	
	LHR	1	
		適当りの時間数	31
探究	探究基礎Ⅲ		

※探究基礎Ⅲは自由履修

〔自然探究科〕時間割例

	月	火	水	木	金
1限	化学研究Ⅱ	物理研究Ⅱ	数学研究β	文学国語	古典探究
2限	地理探究	物理研究Ⅱ	数学研究β	English ExpressionⅡ	体育
3限	数学研究β	数学研究β	文学国語	物理研究Ⅱ	LHR
4限	数学研究β	English ExpressionⅡ	物理研究Ⅱ	地理探究	
5限	古典探究	化学研究Ⅱ	Advanced English	化学研究Ⅱ	数学研究β
6限	Advanced English	体育	化学研究Ⅱ	数学研究β	物理研究Ⅱ
7限		体育			Advanced English

堀川で高校生活を楽しむ

年間行事 生徒会行事

4
APR.

- 入学式
- 前期始業式
- 1年生探究DIVE

5
MAY

- 遠足
- 生徒総会

6
JUN.

- 前期中間考査
- 球技大会
- 人権学習

7
JUL.

- 保護者懇談会
- 学校説明会
- 3年生夏期補習
- 1・2年生全員学習

8
AUG.

- 夏休み

9
SEP.

- 文化祭
- 2年生探究基礎研究発表会

10
OCT.

- 前期末考査
- 前期終業式
- 後期始業式
- 体育祭

11
NOV.

- 保護者懇談会
- 学校説明会

12
DEC.

- 後期中間考査
- 3年生冬期補習
- 1・2年生全員学習

1
JAN.

- 3年生激励会

2
FEB.

- 学年末考査

3
MAR.

- 卒業式
- 1年生宿泊研修
- 後期終業式

遠足 | 5月

新学年、最初のクラスイベント。行き先、内容、予算などすべて自分たちで話し合いながらクラスの親睦を深めます。



球技大会 | 6月

クラス対抗の熱戦が行われます。クラスTシャツを作り、大会に向けた朝練などを通じてクラスが一丸となります。



文化祭 | 9月

クラス企画として、1・2年生は講堂パフォーマンス、3年生はアトリウムパフォーマンスという伝統が受け継がれています。日ごろの授業で培った想像力・創造力を存分に発揮し、衣装や小物づくりなど細部にまでこだわり作り上げます。



体育祭 | 10月

3学年縦割りで6つの団を編成し、右京区の嵯峨野グラウンドで行います。本格的なリレーからユニークなルールの障害物競走までさまざまな種目があり、学年を超えた一体感が生まれる機会です。



生徒諸君への 三つの約束

1 学校は学びの場だ。

自分に足りないものがあるから学ぶ。君たちは学ぶ者としての謙虚さをもて。学校は君たちに多様な学ぶ機会を提供しよう。

2 学校は小さな社会だ。

よりよい社会にするために、君たちは自覚と責任をもて。学校は君たちを大きな子どもではなく、小さなおとなとして尊重しよう。

3 学校は楽しいところだ。

しかし、楽しさは待っていて与えられるものではない。君たち自身が参画し、参加する意思と姿勢をもて。学校は君たちを見張るのではなく見守ろう。

文化祭を通じて破った自分の殻 今後の強みに

私が堀川高校での3年間で最も印象に残っているのは、文化祭のクラス劇です。クラス劇制作に携わる中で気づいたことは、クラスメイトが自分の「好き」や「強み」を生かした係に所属することで、それぞれが欠かせないパーツとなり全員が輝くことのできる空間が出来上がるということです。また、私はもともと受動的な性格で、他人任せなところがありました。金賞を取るという目標を達成するために後悔がないようになりたいという気持ちが大きくなり、自分の意見をはっきり伝え、自ら行動することができるようになりました。堀川高校の劇制作で得たこの力は、きっとこれから先の人生でも私の糧になると思います。

森本 結衣

Morimoto Yui

25期生(普通科)吹奏楽部
京都市立京都御池中学校出身
大阪大学 文学部 人文学科

今一番欲しいもの: -眼レフ



[国際交流]

台湾で開催される模擬国連の大会「NEMUN」への参加

新竹市にある国立新竹科学園区実験高級中学に、台湾内外から多くの高校生を集めて開催される模擬国連大会に本校生徒が参加しています。次年度2・3年生を対象に校内選考を行い、選抜生徒が世界各国の代表として模擬国連に挑戦しています。「移民」「LGBTQ+」「中東における武器不正取引」「核兵器」「平和」などのテーマについて台湾の高校生と英語で議論し、視野を広げる機会になっています。



文部科学省主催「トビタテ！留学JAPAN」、京都府内高校生対象「海外探Q留学」への参加

自分で行き先を決めて海外で探究活動を行う高校生に対して、国や京都府からの支援事業が増えています。本校からは、毎年複数名が夏季休業中を中心に参加し、帰国後報告会を行っています。



マレーシアコース



タイコース



台湾コース

国立台湾師範大学附属高級中学との交流

台湾の国立台湾師範大学附属高級中学（以下、師大附中）との交流が令和5（2023）年から続いています。来日時に探究基礎JUMPの理数系ゼミにて研究内容や成果等について英語で本校生徒と意見交換を行ったり、宿泊研修台湾コースで師大附中を訪問し、宿泊研修中の探究課題について交流したりしています。



神代こころ
Kumashiro Kokoro
25期生（人間探究科）
バドミントン部
精華町立精華中学校出身
京都大学 法学部

行きたい旅行先：髭男のライブ

失敗の価値を最大化できる場所
それが、わたしにとっての堀川高校です

1年生のときに委員長として臨んだ宿泊研修は、学校が準備する「ホテル、航空機のチケット、安全の半分」以外はすべて自分たちが創るという、大きな責任を伴うもので、それだけに変化や悔しさを何度も味わいました。さらに卒業後の3月、後輩たちの創る、わたしたちとはまた違う新たな宿泊研修の形に脱帽させられ、正直に悔しかったです。でも朋と過ごしたどの時間も、本当に楽しい（≠楽しい）ものでした。それはふりかえると、失敗を積み重ねる時期に存分に失敗し、悩みたいときに逃げたいくらいに悩み続けることができた居場所のおかげです。そうして積み上げた3年間は、人生の最良の引用元になるのだらうと思います。あなたの「知りたい」が深める堀川の「らしさ」に悔しがられ、わたしもまだまだだと思える未来が楽しみです。

世界とつながり、
世界を広げる

[宿泊研修]

1年次の3月に実施される宿泊研修は、探究活動の一環として行われます。生徒一人ひとりの研修の目的に合わせて希望するコースを選択し、1年次の4月から約1年かけて自分たちの興味・関心に沿う訪問先について“対話”を行いながら、それぞれの研修をつくり上げます。

異文化に触れ、様々な価値観を知ることで、自己理解や他者理解の大切さを学び、「自立する18歳」への第一歩となります。



国内コース | 東北～関東

タイ

マレーシア

台湾

オーストラリア



オーストラリアコース

※令和7（2025）年度 27期生が実施したコースです

[コミュニティカレッジ]

大学教授や専門機関の研究者などによる「コミカレ講演会」や、本校教職員や保護者・市民が講師となる「コミカレ講座」など、学ぶ楽しさを通して交流する場を企画します。また、講演会は探究活動の一環として事前学習や当日の運営などを生徒主体の委員会が担当します。生徒だけでなく、保護者・教員・市民が共に学べる機会となっています。



〈 近年実施された講演会・講座 〉（一部）

- **そこに辺境があるから**
小坂 健一郎氏（京都大学大学院医学研究科皮膚科学教室）
- **生成AI時代における学びと次代を創造する力**
合田 哲雄氏（文化庁次長）
- 各新聞社（37社）・公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会主催「高校生のための文化講演会」
選択を正解にするために
鳥谷 敬氏（元プロ野球選手）
- **性別って2つだけ？～多様な性のあり方～**
峰山 和真氏（一般社団法人ELLY）
- **動物の「こころ」を探る心理学**
～ゾウが教えてくれたこと～
入江 尚子氏（駒澤大学および立教大学兼任講師）
- 『源氏物語』特別講座
紫式部のいちわる
岸本 久美子氏（京都市立銅駝美術工芸高等学校 元校長）
- **世界から見た日本**
ジュール・イルマン氏（在京都フランス総領事）
- **学問とは何か？教養とは何か？**
中島 岳志氏（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授）
- **WEターンからAI親友論へ**
出口 康夫氏（京都大学文学研究科長および文学部長）
- **人類の進化と学びの未来**
山極 壽一氏（総合地球環境学研究所 所長）

※原書きは講演会当時のもの

〈 学校説明会までの流れ 〉

1 リーダーを決める

堀川高校の魅力中学生に伝えたい！自分の経験を話したい！様々な思いを持った生徒が立候補してリーダーが決まります。



2 企画準備を進める

来場者に堀川高校をより深く知ってもらうために、受付や説明、講堂運営など各パート内でリーダーを中心に、会議やリハーサルを何度も行い、様々な工夫を凝らして準備します。



3 説明会当日

いざ本番！準備したことを丁寧に確認し、万全の状態で見守ります。スタッフの誰かが困っていても、チームで助け合い、パート間での連携もフル稼働。何よりも、中学生が喜んでくれて、新たな発見や気付きを持ち帰ってもらえるように、皆が一丸となって運営します。



4 スタッフ会議(振り返り)

スタッフそれぞれの頑張りに、互いに敬意と感謝を伝えあうとともに、より良くするための改善点や課題などを共有し、未来の学校説明会へと繋げます。



[学校説明会リーダー・スタッフ]

7月と11月に行われる学校説明会は、生徒有志のリーダー・スタッフによって運営されます。

受付や案内役となり来場者と接するパート、舞台やフロアで発表するパート、裏方として会を支えるパート、各パートをまとめるリーダー代表——それぞれの生徒が互いの役割を尊重しながら自らの役割を果たす中で、「チームで動く」重要性を学んでいきます。

同時に、堀川での学びを分かりやすく説明するためには、学校生活を通して得たことを言語化する必要があるため、学校説明会はリーダー・スタッフ自身が、自らの学びや成長を実感する機会ともなります。

令和8(2026)年 〈 学校説明会 スケジュール 〉		
日程	時間	対象
第一回 7月18日(土)	9:00 - 13:00	中学1～3年生
第二回 11月7日(土)	9:00 - 12:00	中学3年生
	13:00 - 15:00	中学2年生以下

※事前申込については、学校ホームページをご確認ください。

[町へ出よう！プロジェクト]

高校生活の1095日間、その一日を外の世界とつながる機会とし、自分そして他者と対話する。そんな契機を見出すべく「堀川高校 町へ出よう！プロジェクト」が平成21(2009)年にスタートしました。

その一環として、京都が世界に誇る「祇園祭山鉦巡行」のボランティアに毎年参加しています。鉦の曳き手として、また鉦の進行状況連絡や給水などの本部運営に直接かかわることを通して、歴史と伝統の重みを肌で感じることができます。



「チームで動く」を体験する

生徒会は、文化祭や体育祭、球技大会等、高校生活を豊かにするさまざまな学校行事の企画立案と運営を担う、生徒の自主活動組織です。執行部と各ホームルームの委員を軸に多くの取組を進めています。

部活動への加入率は80%以上です。授業の後、各部とも限られた条件の下でさまざまな工夫をし、目標と意志を明確に持って活動しています。



[部活動・生徒会]

- | | | |
|---|--|--|
| <p>文化系部活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語 演劇 茶道 食物 文芸 吹奏楽 電算機研究 美術 軽音楽 自然科学 邦楽 | <p>体育系部活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 剣道 山岳 サッカー テニス ソフトボール 硬式野球 バスケットボール バドミントン バレーボール 陸上競技 ボート | <p>生徒会</p> <ul style="list-style-type: none"> 執行部 新聞局 放送局 |
|---|--|--|

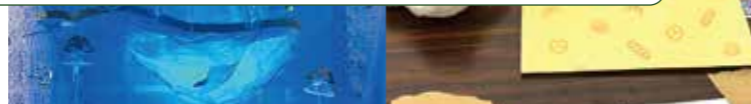
部活や学校活動で得たエネルギーを転換 塾なしで掴みとった結果は

「何兎も追って何兎も得る」そんなわがままに答えてくれるのが堀川です。正直無謀な受験の目標を掲げながら、私は部活動主将、探究道場幹部、文化祭監督…と沢山の挑戦をし、またそんな中で外部予備校には通わず、学校を頼って勉強しました。すると3年の文化祭後に、勉強が学校での様々な活動の延長線上にあると捉えられ、多方面へのエネルギーを勉強に集中することができました。今思うと、堀川での活動は全てが繋がっていて、挑戦を応援し合える朋や親身な先生方が周りにいた点で、本当に恵まれていたのだなと感じます。堀川を信じて良かった。3年間を振り返って、心からそう思います。

安藤 壮太

Ando Sota
25期生(人間探究科)硬式野球部
京都市立嵯峨中学校出身
京都大学 法学部

行きたい旅行先：テーブルマウンテン
(南アフリカ共和国)



第IV章

夢の実現に向けて

遠い未来と近い未来

進路を考える。それは一回限りの人生をどのように生きるかについて考えることです。自分の未来をどのように作り実現していくかを生徒に問いかけること、そして生徒の夢の実現に向けて支援すること、この二つが堀川高校の進路指導の根幹です。進路を考えることは自己実現を図ることであるとともに、他者・社会との関わりを考えることでもあります。卒業後に歩む人生、つまり「遠い未来」と、それを叶えるために見据える「近い未来」と、その両方を見つめてほしいと考えています。



二兎を追う

学問研究に向けた基本的な能力や姿勢を培うことと、希望する大学に合格し、学び続けることのできる学力をつけること。

この「二兎」を追い求め達成することによって、取組の質を上げ、より高い成果を収めることができると考えています。

全体指導と個別指導

学年責任者である学年主任、および各クラスのHR担任、学年担任で学年団を構成し、各学年の指導にあたっています。学年団があらゆる指導を主導し、各部署がそれを支えます。

学年団が中心となってガイダンスやアセンブリー(集会)を実施し、生徒全員に対する指導を進める一方、教員間で個々の生徒の学習状況や進路について共通理解をはかる進路検討会を実施し、学校全体で生徒一人ひとりを支援します。

HR担任との徹底した個別面談を中心に多面的な指導を実施しています。

〈 令和8(2026)年度 入試結果 〉

※()付き数字は内数を表す

国立4年制大学	普人	普理	人間	自然	現役計	過年度	合計
北海道大	3	1	5	9	1		9
東北大		1	3	4	1		5
筑波大			1	1			1
千葉大				2	2		2
お茶の水女子大	1			1			1
東京大			1	2	3	1	4
文部二類			(1)	(1)			(1)
理科一類				(2)	(2)		(2)
理科二類					(1)	(1)	(1)
東京外大	1			1			1
金沢大				1	1		1
福井大		1		1	1		2
医 医					(1)	(1)	(1)
岐阜大		1		1	1		2
浜松医大					2	2	2
医 医					(2)	(2)	(2)
名古屋大	1	1		2			2
名古屋工大					1		1
滋賀大	1			3	4	2	6
滋賀医大				1	1	1	2
医				(1)	(1)	(1)	(2)
京都大		1	10	22	33	20	53
文			(3)	(3)	(4)	(7)	(7)
法			(4)	(4)	(2)	(6)	(6)
経済			(2)	(2)	(1)	(3)	(3)
総合人間			(1)	(1)		(1)	(1)
理				(5)	(5)	(3)	(8)
工				(13)	(13)	(3)	(16)
医 医					(1)	(1)	(1)
医 人間健康				(2)	(2)	(1)	(3)
薬		(1)			(1)		(1)
農				(2)	(2)	(5)	(7)
京都工芸繊維大		1		7	8		8
大阪大	3	4	1	8	16	1	17
文	(1)		(1)	(2)	(2)		(2)
外国語	(1)			(1)			(1)
経済	(1)		(3)	(4)			(4)
人間科学					(1)	(1)	(1)
理		(1)		(1)			(1)
工		(1)	(1)	(2)			(2)
基礎工		(2)	(2)	(4)			(4)
医 医				(1)	(1)		(1)
薬				(1)	(1)		(1)
大阪教育大		1		1			1
神戸大	2	1	4	4	11	11	22
法			(1)	(1)			(1)
経営	(1)			(1)	(1)	(2)	(2)
国際人間			(3)	(3)	(2)	(5)	(5)
理				(1)	(1)	(1)	(2)
工		(1)	(3)	(4)	(2)	(6)	(6)
医 医					(2)	(2)	(2)
農					(2)	(2)	(2)
海洋政策	(1)				(1)	(2)	(2)
奈良女子大		2		1	3	1	4
広島大				1	1	1	2
山口大						1	1
医 医					(1)	(1)	(1)
愛媛大		1		1			1
医 医		(1)		(1)			(1)
高知大					1	1	1
九州大			1	1	3	4	4
長崎大				1	1	1	1
琉球大		1		1			1
計	9	19	19	61	108	49	157

大学校	普人	普理	人間	自然	現役計	過年度	合計
防衛医科大学校						2	2
気象大学校						1	1
計						3	3

公立4年制大学	普人	普理	人間	自然	現役計	過年度	合計
国際教養大					1		1
新潟県立大	1				1		1
山梨県立大		1			1		1
長野県看護大		1			1		1
名古屋市立大				2	2	2	4
医 医						(1)	(1)
滋賀県立大		2			2	1	3
京都市立芸大						1	1
京都府立大	2	1	1		4	4	7
京都府立医大				4	4	3	7
医 医				(3)	(3)	(2)	(5)
大阪公立大		2		13	15	10	25
兵庫県立大	1	1			2		2
岡山県立大						1	1
計	4	8	2	19	33	18	51

私立4年制大学	普人	普理	人間	自然	現役計	過年度	合計
北海道医療大						1	1
国際医療福祉大						1	1
医 医						(1)	(1)
自治医大						1	1
医 医						(1)	(1)
埼玉医大				1	1		1
医 医				(1)	(1)		(1)
慶應義塾大				2	2	3	5
上智大						1	1
中央大						1	1
東海大		2			2	1	3
東京理大						8	8
明治大				1	1	1	2
早稲田大		1	3		4	3	7
松本歯大		1			1		1
京都先端科学大		1			1		1
京都産業大	1	3	5		9	7	16
京都女子大	1				1		1
京都機大						4	4
京都薬大		2		2	4	5	9
同志社大	9	10	40	31	90	57	147
同志社女子大	2	2		2	6		6
佛教大	3				3		3
立命館大	18	23	24	30	95	65	160
龍谷大	5	8	4	1	18	1	19
京都医療科学大		1			1		1
大阪医薬大				1	1	3	4
医 医				(1)	(1)	(2)	(3)
大阪経済法科大	3				3		3
大阪工大		4			4		4
大阪歯大		3			3		3
関西大	3	1	1	4	9	6	15
関西医大		1		3	4	2	6
医 医				(3)	(3)	(2)	(5)
近畿大		8	3	11	22	4	26
医 医				(1)	(1)		(1)
関西学院大		4		3	7	5	12
甲南大	1				1		1
兵庫医大						1	1
医 医						(1)	(1)
産業医大						1	1
医 医						(1)	(1)
計	46	75	80	92	293	182	475

海外4年制大学	普人	普理	人間	自然	現役計	過年度	合計
King's College London		1			1		1
University of Derby		1			1		1
Royal Holloway,University of London		1			1		1
The University of Edinburgh		1			1		1
計		4			4		4

※令和8(2026)年4月17日現在

互いの「変さ」を面白いがる 尊重される個性

堀川高校は、ある種の「自然保護区」といえるだろう。他所では「出る杭」として打たれかねない独自の個性が、ここでは固有種のように守られ、不思議な調和を成している。既成の物差しにとらわれず、各々が独自の向上心や幸福を追い求める。この環境において、部活動は同じ志を持つ仲間と出会う貴重な場だ。それは単なる集団行動ではなく、異なる個性が「共鳴」し合う越境の場でもある。互いの「変さ」を面白いがり、一つの目標へと情熱を注ぎ込む時間は、何物にも代えがたい。この場所で築かれる絆は、生涯の宝物となるはずだ。



吉松 尚輝

Yoshimatsu Naoki

25期生(自然探究科)自然科学部
京都市立上京中学校出身
京都大学 理学部

好きな本:『力学』(ランダウ=リフシッツ 理論物理学教程)

京都市立堀川高等学校 グラントデザイン



最高目標

「自立する18歳」 の育成

生きていくための知識・教養に裏付けられた判断力と行動力を備え、人や社会と関わりあう中で育まれる想像力と創造力を活かし、自他の存在や価値の尊さを感じつつ、自己実現を図ろうとする生徒を育成する。それは、学校による学びの機会の提供と指導、そして生徒の姿勢と行動によって構築される「豊かな学校」において実現される。

生徒に求められる姿勢と行動

堀川高等学校憲章

※平成20(2008)年 生徒会制定

- ▶ 多様な存在と価値を大切にし、時間と力を重ねて、**ひとつになる**ことをめざします。
- ▶ よりよいものを創出することを求め、困難に立ち向かい、工夫を重ねて一層の**高みに向かう**ことをめざします。
- ▶ 誇り高く生きることを願い、自己を見つめ、力を蓄えて、自覚した**ひとりになる**ことをめざします。

3つの指導の柱

学校による機会の提供と指導

- 生徒に教養の獲得を促す指導**
授業等の指導に関する研究、実践、改善を行う。
- 自己実現を図る進路目標の設定と達成に向けた取組を支援する指導**
可能性を引き出し、情報を提供し、能力を開発する。
- 幅広い経験に基づく人間形成を図る指導**
機会を提示し、取組を支援・指導し、主体性を育む。

豊かな学校

THE NEST OF YOUTH — 若者たちが飛翔する場 —

集う人が考えるあたまと感じるこころを持ち、自分や他者、社会や世界にとって「豊かさ」とは何かを一人ひとりが考える。疑問をもち、問題の解決に向けて取り組む。他の存在や価値に触れ、自己のあるべき姿を追い求める。それらを可能にするために学び、思考し、表現し、振り返る。堀川高校はその時に必要となる「ことば」を大切にしている学校でありたい。

入学時に求める生徒像

アドミッション・ポリシー
ADMISSION POLICY

めざす目標・展開する教育活動・指導の観点

カリキュラム・ポリシー
CURRICULUM POLICY

卒業までに身につける力

グラデュエーション・ポリシー
GRADUATION POLICY

多様な経験を通して得た学びを活用する能力と、自らの可能性を信じて高みをめざす態度を有する生徒

- ✓ 言語活動を通して、思慮深さ、正当な批判力と判断力と行動力を身につけようとする生徒
- ✓ 高い目標を見据え、他者との関係性を考えながら選択や判断を行い、自己実現を図ろうとする生徒
- ✓ 学校生活の多様な取組に意欲と関心を持ち、主体的な経験を通して人間形成を図ろうとする生徒

生涯学び続けていく意欲と能力を備えた若者の育成にむけて、探究的な教育活動を展開する。よりよい社会を創造し先導するために必要な高い学力と豊かな知性を培い、感性を磨き、また、主体的に楽しみながら学びあい、振り返り、挑戦を重ねることを支援する。

- 各教科・科目や総合的な探究の時間に関する研究と実践、改善に取り組み、人文・自然・社会全般にわたる教養教育を進める。
- 他者との関係をふまえながら自分の「今」を見つめ「次」を描くことを生徒に求め、目標の実現に必要な能力と学力を養う。
- 学校生活全般においてさまざまな経験を重ねる機会を提供し、生徒がそれらの活用を通して人間形成を図れるよう支援する。

科学・文化の担い手、また、良識ある社会の担い手として、自己および人類の未来を切り拓く資質・能力

人間の文化や社会・行動、自然の現象や原理・法則などの社会的・学問的価値などを踏まえ、

幅広い教養を持ち、よりよい社会の実現や文化・科学・技術の発展を視野に、

- ✓ 目標を立てて、その実現に必要なことを想定し、方針をたてることができる。
- ✓ 社会の事象を多面的・批判的に検討し、課題に向き合い価値を創造し、論理的に表現することができる。
- ✓ 自分の力で、また、他者とともに粘り強く、自己を調整しながら取り組むことができる。

01 FIRST STAGE

目標	なれる 謙虚に学ぶ姿勢を持ち、作法を身につける	たのしむ 他者と関わり、見聞を広げ、知性を育む
所属感性	「堀川を知り、堀川高校生になる」学校は「小さな社会」であることの自覚安心できる居場所づくりと他者への寛容さを	
学習姿勢	目標と目的を意識し、調整しながら謙虚に学ぶ	
進路目標 学力向上	「遠い未来」の設計/「近い未来」に向けた選択言語活用能力を鍛えて	
探究基礎	「知らない」との出会い、「知りたい」のひろがり学びの作法の習得と学問的関心の拡大	
学校行事 主体的活動	多様な取組をやってみる、遠げてみる対話の重視、他者との協働、役割の認識	
文化祭	意思を持つ、全員でつくる、先輩から学ぶ	
次ステージへ	「2月から2年生」へ自己を知り、可能性を感じ、自分の道を描く	

02 SECOND STAGE

目標	かえりみる 立ち止まり、振り返り、思索し、整理してみる	あそぶ 枠を超え、外を感じ、あれこれ挑んでみる
所属感性	「堀川の核となり、先頭に立つ」よりよい「小さな社会」づくりやわらかくつながり、自分の手による創造を	
学習姿勢	強みを知り、弱みに向き合い、改善に取り組む	
進路目標 学力向上	「遠い未来」へのこだわり/「近い未来」への方略本質を見抜く力、多角的に考える力を磨いて	
探究基礎	「やりたい」との出会い、「きっとこうだ」の追求「問い」を立て「答え」を導く実践と振り返り	
学校行事 主体的活動	他に圧倒される体験が、自分たちを変えていく目標に向かう組織づくり、過程における学び	
文化祭	豊かに表現する、連なり重ねる、突き抜ける	
次ステージへ	「2月から3年生」へ自己を振り、目標をことばにし、挑む心を整える	

03 FINAL STAGE

目標	むかう 自己の展望を掲げ、支援を得て自ら歩む	たつ 総エネルギーを自覚し、力強く立ち向かう
所属感性	「堀川を語り、誇り、志高くはばたく」自分らしく「大きな社会」へ違いを認め自分を信じ、勇気ある一歩を	
学習姿勢	1人で、仲間と、探究的に学ぶ力を発揮する	
進路目標 学力向上	「遠い未来」への覚悟/「近い未来」の実現可能性を切り拓く確かな学力を蓄えて	
探究基礎	「まだまだしたい」のワクワクする挑戦これまでの手法や経験を活かした新たな探究	
学校行事 主体的活動	困難に立ち向かう、自己の可能性にける高度な汎用的探究能力を活かした実践	
文化祭	自分を越え、仲間と超え、最高の景色をみる	
次ステージへ	さらなる知の海へ、躍動の壇へ生涯学び続ける学習者としての教養と人格を	

若者たちが飛翔する場

THE NEST OF YOUTH

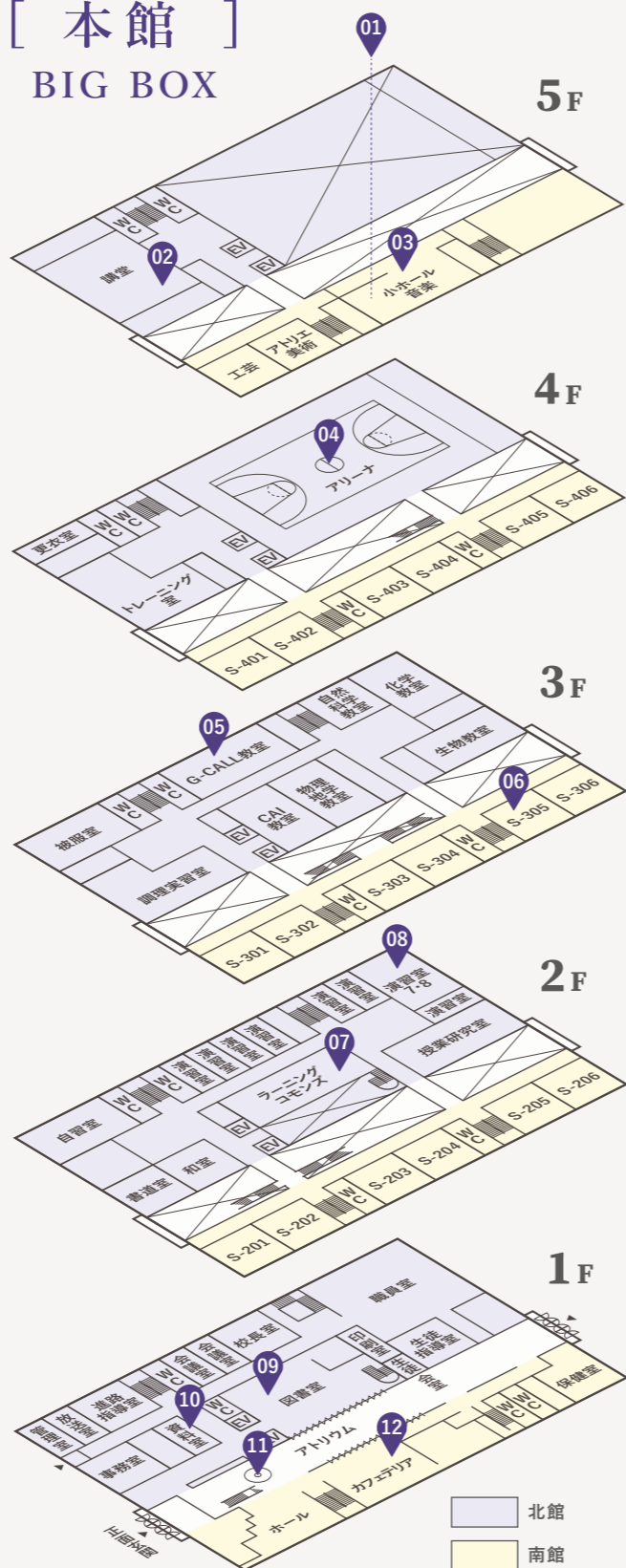
平成11(1999)年に完成して以来、若者たちの静と動を育ててきたBIG BOX。南館と北館を結ぶガラス屋根の空間「アトリウム」では、多くのドラマが生まれました。ここは、さまざまな経験を通して、一人ひとりの成長を見守る場です。



01 屋上
天文台

北館屋上に自動迎入式天体望遠鏡を設置しています。「地学」・「探究基礎」の授業や自然科学部の終夜観測、希望生徒対象の天体観望会などで活用しています。

[本館] BIG BOX



07 北館 2F
L-Com. (ラーニングcommons)

様々な可動式の机やホワイトボードを数多く設置しており、授業中、放課後を問わず学習や探究活動で活用できます。主体的な活動の場となり、自主的な学習チームや行事の打ち合わせ、部活動の作戦会議など、日々、活発な議論が行われています。



08 北館 2F
演習室7・8

平成31(2019)年4月に改装された学習スペース。全面ホワイトボードで、机椅子は可動式。高性能のプロジェクターも備え付けられており、新しい学びの形に対応します。



09 北館 1・2F
図書室(ルーム・エコ・ライブラリー)

蔵書は約5万冊。LED照明(ルーム株式会社寄贈)を用いるなど環境保全に配慮した図書館です。放課後などは自習に利用できます。



10 北館 1F
進路資料室

ガラス張りの資料室には大学進学に必要なデータがいっぱい。進路希望実現をソフト・ハード両面から支えます。向かいの進路指導室には、個別相談のためのカウンセリングブースが4室あります。



11 アトリウム
フーコーの振り子

平成15(2003)年に設置されたフーコーの振り子は地球の自転を証明する実験装置です。常設の振り子として、堀川高校のシンボルとなっています。



12 南館 1F
カフェテリア

みんなと一緒に語らいながらのおいしい昼食のひとときを約束する、楽しい憩いの空間です。放課後は生徒のミーティングやコミュニケーションの場にもなります。

[本能館]

堀川高校の東、油小路蛸薬師にあった元本能小学校の跡地を活用して設立された「本能館」。4階建ての施設は、探究活動スペースと第2体育館(本能ホール)からなります。ここでもまた、多彩な探究活動が展開されます。

4F Science Floor サイエンスフロア

理数系探究活動のフロア。各実験室ではグループまたは個人の興味・関心に基づいた実験や観察を行います。ALでは、高速液体クロマトグラフィーをはじめ高度な機器を活用して分析や測定実験を行います。

- PL / 物理実験室
Physics Laboratory
- CL / 化学実験室
Chemistry Laboratory
- BL / 生物実験室
Biology Laboratory
- ESL / 地学実験室
Earth and Space
Science Laboratory
- AL / 分析室
Analysis Laboratory



Presentation Hall プレゼンテーションホール

それぞれ100人を収容できる多目的ホール。講演会や大人数の授業の場として、また机・椅子を収納して探究活動のポスター発表会の会場としても使用しています。



3F

Culture Floor カルチャーフロア

文系探究活動のフロア。4室のセミナールームがあり、プロジェクターをはじめとする視聴覚機器が備え付けられています。



2F

1F HONNOH Hall 本能ホール

主に体育の授業と放課後の部活動に使用しています。それ以外に生徒の研究発表や集会の場としても使用しています。



02 北館 5F
講堂

学年の生徒全員を収容できる講堂は、アセンブリー(集会)・講演会・生徒の発表会などさまざまな行事に利用されています。特に文化祭では、クラス劇の上演で大変盛り上がりがあります。



03 南館 5F
小ホール

主に音楽の授業で使用します。視聴覚教室・スタジオとしての機能もあります。放課後には吹奏楽部や軽音楽部が使用することもあります。



04 北館 4F
アリーナ

バレーボールのコート2面分の大きさがあり、体育の授業や部活動を行う体育館として使用します。また、入学式や卒業式などの式典や全校集会の場でもあります。舞台横の壁には、卒業記念品の校歌が飾られています。



05 北館 3F
G-CALL Garden of Curious and Liberal Learners

最大80人を収容できる大教室です。可動式の机やホワイトボードがあり、グループワークなどを自由に行うことができます。生徒が生徒に教えるなど、他者との共同作業やディスカッションなどを通じて、対話的な学びを実現します。



06 南館 2・3・4F
HR教室

HR教室は、横幅を最大限に生かした一面ホワイトボードになっています。プロジェクターも2機備えられています。生徒が、毎日使う教室だからこそ、自由な活動と深い学びを生み出す最適な設備を考えました。

入試方法

〈 令和9(2027)年度 選抜概要 〉

掲載している情報は令和8(2026)年5月時点のものであり、最終の確定内容は、8月末頃に京都府教育委員会・京都市教育委員会より発行される「京都府公立高等学校入学者選抜概要及び前期選抜等実施要項」にてご確認ください。

入学者選抜の詳細は、原則、中学校を通じてお伝えします。中学校の先生と十分にご相談ください。

〈 入学試験結果 〉

	志願者数	合格者数
令和8(2026)年度	248	165
令和7(2025)年度	238	164
令和6(2024)年度	272	165

※探究学科群のみ

〈 前期選抜 〉

募集定員	240名 / 独自枠 (※共通枠は実施しません)	
入試方式	A方式	D方式
募集人員	230名 (京都府内全域より154名、京都市・乙訓通学圏より76名)	10名 (京都府内全域)
検査項目 配点	<ul style="list-style-type: none"> 個別学力検査[※] 300点 (英語/国語/数学 各100点×3) 統一学力検査 80点 (社会/理科 各40点×2) 報告書 100点 	<ul style="list-style-type: none"> 個別学力検査[※] 300点 (英語/国語/数学 各100点×3) 面接 150点
検査日	2月中旬の2日間	

※「個別学力検査」は、本校が独自に作成する学力検査の名称です。

〈 入試について 〉

Q1 A方式とD方式の併願はできますか？

A1 併願はできません。本校への入学を希望する場合、A方式かD方式のどちらかを選択して受験してください。ただし、他の公立高校の「共通枠」との併願は可能です。

Q2 なぜD方式のような入試を行うのですか？

A2 「こんな仲間がいたら嬉しい！」を重点に、計り知れない可能性を秘めた中学生を本校に迎え入れられないかと考え、この入試を行うことにしました。独自問題として出題する「英語」「国語」「数学」の3教科の他に、学力以外の資質・能力等をより多面的に評価するため、事前に提出してもらう「学びの軌跡」(面接補助シート)をもとに、個人面接を行います。受験を検討される方は、中学校の先生に申し出てください。本校まで直接お電話でご相談いただくことも可能です。

Q3 D方式の「個人面接」では、どのようなことを聞くのですか？

A3 聞きたいのは、「あなた自身」です！これまでの人生で大切にしてきたこと、たくさん時間を使ってきたこと、没頭し集中してきたこと、京都や日本などとは異なる環境で過ごしてきたことなど、あなたならではの経験・体験が、今のあなたにどのような影響を与えているかを聞きたいと考えています。個人面接で約20分間、しっかり聞かせてください。

堀川の魅力をもっと知るためにぜひ一度ご来校ください！



説明会等スケジュール

	日程	時間	対象	事前申込
第一回 探究道場	7月4日(土)	9:00 - 12:30	中学2、3年生	要
第一回 学校説明会	7月18日(土)	9:00 - 13:00	中学1~3年生 / 保護者	要
文化祭	9月5日(土)・6日(日)	9:00 - 16:00 (予定)	制限なし	不要
第二回 学校説明会	11月7日(土)	9:00 - 12:00	中学3年生 / 保護者	要
		13:00 - 15:00	中学2年生以下 / 保護者	要
第二回 探究道場	11月21日(土)	9:00 - 12:30	中学1~3年生	要

※詳細については、学校ホームページをご確認ください。

アクセス

〈 電車 〉

- 阪急-京都線 「大宮」駅 徒歩5分
- 京福-嵐山本線 「四条大宮」駅 徒歩5分
- 地下鉄-烏丸線 「四条」駅 徒歩10分
- 地下鉄-東西線 「二条城前」駅 徒歩12分
- JR-嵯峨野線 「二条」駅 徒歩14分

〈 バス 〉

- 京都市バス 「堀川蛸薬師」すぐ 「四条堀川」徒歩2分

〈 自転車 〉

駐輪場 400台



〈 学術顧問 〉 ※50音順・敬称略

■ 名誉学術顧問

- 井村 裕夫 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 名誉理事長 元京都大学総長
- 佐藤 禎一 東京国立博物館 名誉館長 元ユネスコ日本政府代表部 特命全権大使 元文部事務次官

■ 学術顧問

- 秋山 仁 東京理科大学 特任副学長、理数教育研究センター長
- 西岡 康夫 NPO法人教育システム研究所 理事
- 茂木 健一郎 脳科学者 ソニーコンピュータサイエンス研究所 シニアリサーチャー

■ グランドデザイン評価委員会 兼 スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会

- 小林 哲生 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 上席特別研究員
- 出口 康夫 京都大学 教授
- 野口 範子 同志社大学 教授
- 三宅 香帆 京都市立芸術大学 非常勤講師 文芸評論家



〈 学校情報 〉

京都市立
堀川高等学校
KYOTO MUNICIPAL HORIKAWA HIGH SCHOOL
〒604-8254
京都市中京区東堀川通錦小路上ル四坊堀川町622-2

嵯峨野グラウンド
〒616-8307
京都市右京区嵯峨広沢池下町82

お問い合わせ
FAX: 075-211-8975
075-211-5351
https://cms.edu.city.kyoto.jp/300605/weblog



〈 必要経費 〉

※令和8(2026)年度1年生

入学金	5,650円
授業料(就学金支援制度あり)	118,800円
PTA会費・振興会費	11,000円
その他諸経費	約 55,000円
制服代	約 52,000円
教科書・体育用品	約 60,000円

※その他、別途宿泊研修費・学習情報端末費は行き先・購入品によって個人差があります。